

KEIKYU BUSINESS REPORT

第98期 第2四半期 連結累計期間報告
2018年4月1日～2018年9月30日

京浜急行電鉄株式会社 証券コード 9006

CONTENTS

- P.2 トップメッセージ
- P.4 連結決算ハイライト
- P.5 セグメント情報
- P.6 トピックス
- P.8 特集 京急と横浜のあゆみ(後編)
- P.10 株主プレミアムイベント
- P.11 会社の概要



トップメッセージ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第98期 第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の事業の概況をまとめ、「KEIKYU BUSINESS REPORT」としてお届けいたします。

京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

原田 一之



第98期第2四半期連結決算の概要

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業およびレジャー・サービス事業等が好調に推移したことにより、1,510億7千7百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は前年同期にたな卸資産評価損を計上した反動などにより、192億2千2百万円(前年同期比5.1%増)、経常利益は179億9千4百万円(前年同期比6.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は123億6千8百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

当期の中間配当金につきましては、直近の配当予想から1円増配し、1株当たり配当金を8円とすることを決定いたしました。また、期末配当金につきましても、通期業績見込みおよび財務状況等を勘案し、直近の配当予想から1円増配し、1株当たり配当金を8円に修正いたしました。これにより、5月に公表した年間配当金は、1株当たり14円から16円になる予定ですので、ご報告申し上げます。

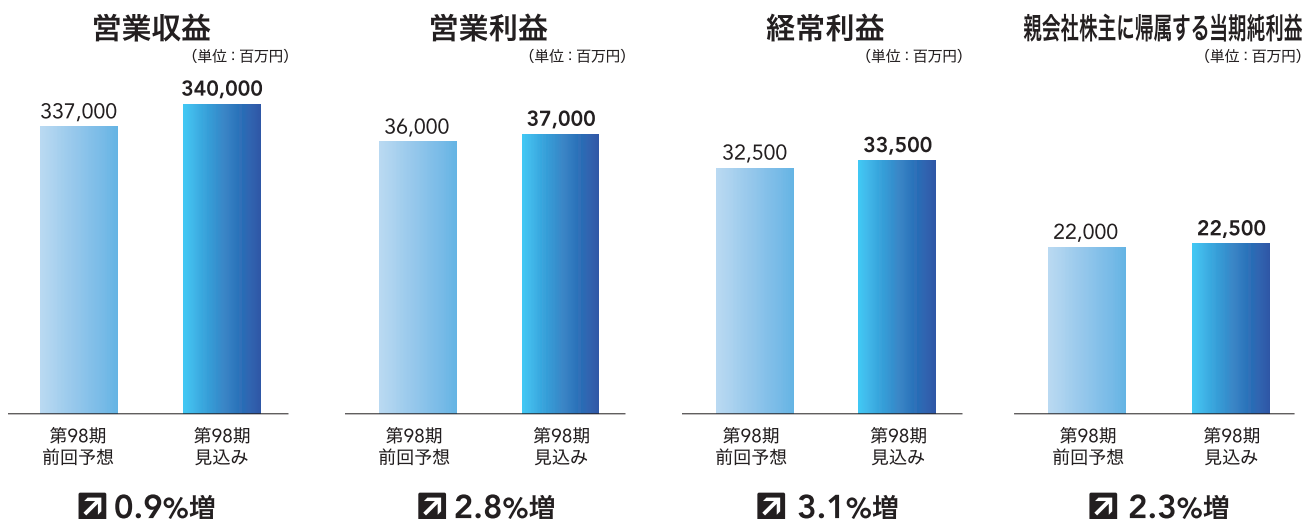
第98期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の見通し

連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、前回予想(2018年5月9日公表)を修正しております。

営業収益は、不動産事業およびレジャー・サービス事業などで前回予想を上回る見通しとなったことから、3,400億円(前回予想比0.9%増)を見込んで

おります。

利益面では、不動産事業の増益などにより、営業利益は370億円(前回予想比2.8%増)、経常利益は335億円(前回予想比3.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は225億円(前回予想比2.3%増)と、それぞれ上方修正しております。



中期経営計画における主な取り組み

当社グループは、2016～2020年度の5年間で中期経営計画期間とし、「構造変革期」と位置づけ、企業体質の変革に向けた事業再編やお客様志向の徹底に取り組んでおります。今期は中期経営計画の重点テーマの1つである「都市近郊リゾート三浦の創生」を実現するために、三浦半島の魅力を発信する

イベントの開催や輸送サービスの向上に取り組みました。また、高架下の有効活用による沿線地域の活性化のほか、不動産事業では国内外で新たな取り組みを実施いたします。

詳しくは、本レポートの6ページから7ページをご参照ください。

▶ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

	当第2四半期末	前期末
資産合計	895,903	876,679
負債合計	628,343	623,314
純資産合計	267,560	253,365

●資産の部

受取手形及び売掛金の減少はありましたが、現金及び預金、投資有価証券ならびに分譲土地建物の増加などにより、前期末と比べ192億2千4百万円増加しました。

●負債の部

支払手形及び買掛金の減少はありましたが、有利子負債および長期前受工事負担金の増加などにより、前期末と比べ50億2千8百万円増加しました。

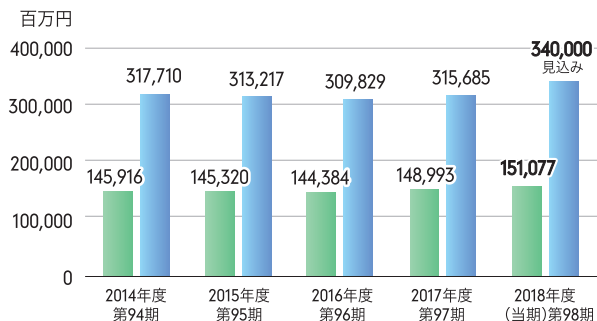
●純資産の部

剰余金の配当などによる減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加により、前期末と比べ141億9千5百万円増加しました。

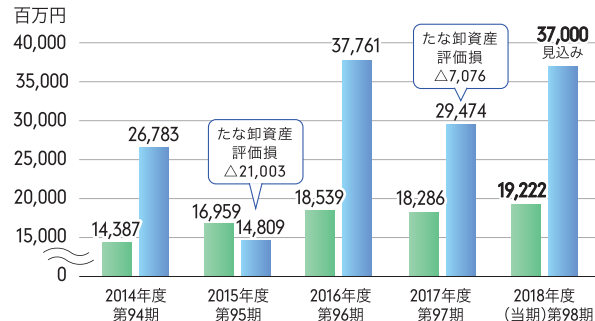
▶ 業績等の推移

■ 第2四半期(累計) ■ 通期

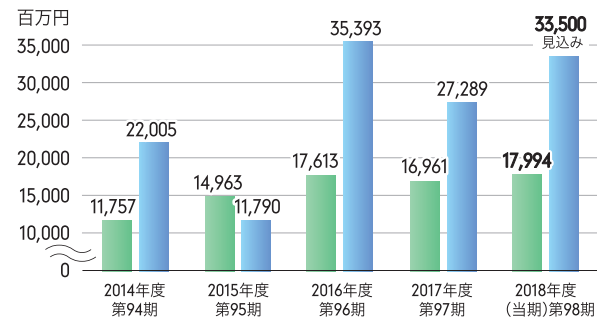
営業収益



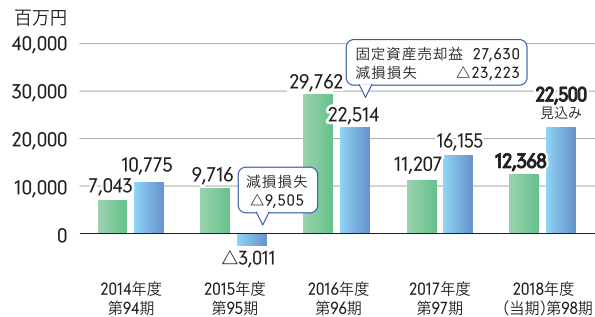
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は当期純損失(△)



セグメント情報

交通事業



営業収益

629億円

(前年同期比 0.8%増)

営業利益

122億円

(前年同期比 2.9%減)

- 鉄道事業では、都心方面および羽田空港の輸送人員の増加などにより、輸送人員は前年同期比で1.2%増加となり、増収となりました。また、羽田空港国内線ターミナル駅および羽田空港国際線ターミナル駅の輸送人員は、前年同期比で4.6%増加しました。
- バス事業では、京浜急行バス(株)および川崎鶴見臨港バス(株)は、羽田空港アクセス路線等が順調に推移したことなどにより増収となりました。
- 動力費および燃料費の増加などにより、交通事業全体においては減益となりました。

不動産事業



営業収益

178億円

(前年同期比 13.3%増)

営業利益

21億円

(前年同期比 256.7%増)

- 不動産販売業では、分譲マンションの売上が増加したことなどにより増収、不動産賃貸業では、前期に取得したオフィスビルが通期稼働したことなどにより増収となりました。
- 前年同期にたな卸資産評価損を計上した反動などにより、不動産事業全体においても増益となりました。

レジャー・サービス事業



営業収益

185億円

(前年同期比 5.1%増)

営業利益

35億円

(前年同期比 6.6%増)

- ホテル業では、京急EXインは、ビジネス、レジャー需要を積極的に取り込み、前期に開業した新館をはじめ、各館が好調に稼働し、増収となり、レジャー・サービス事業全体においても増収増益となりました。

流通事業



営業収益

529億円

(前年同期比 0.9%増)

営業利益

11億円

(前年同期比 5.9%増)

- (株)京急百貨店は、前期にリニューアルした売場が順調に推移したことなどにより増収、(株)京急ステーションコマースは、(株)セブン-イレブン・ジャパンと業務提携した店舗などが順調に推移し、増収となり、流通事業全体においても増収増益となりました。

その他



営業収益

191億円

(前年同期比 5.9%減)

営業利益

5億円

(前年同期比 30.2%減)

- 京急建設(株)が、前年同期に受注した工事の反動などにより、その他の事業全体においては減収減益となりました。

TOPICS

1

基幹たる交通事業の基盤強化

▶ 三浦半島への旅客誘致に向けた輸送サービス

2018年4月27日に、京急油壺マリンパークが開館50周年を迎えました。これを記念し、ヘッドマークを掲出したラッピング列車を運行したほか、京急油壺マリンパークの入園券と電車・バスの往復乗車券がセットになった「京急油壺マリンパークきっぷ」を期間限定で発売しています。また、2018年9月に、品川駅から三浦海岸駅までペンギンやカワウソと一緒に乗車できる貸切イベント列車を運行しました。

今後も多くのお客様に三浦半島へお越しいただけるよう、魅力的な輸送サービスを実施していきます。



ペンギンやカワウソと行く京急貸切イベント列車



TOPICS

2

都市近郊リゾート三浦の創生

▶ 「三浦Cocoon」で「三浦半島のあたらしいすごしかた」の提案

2018年7月に、「三浦半島のあたらしいすごしかた」を提案するイベント「三浦Cocoon（コクーン）」を開催しました。これは、東京大学と当社グループの若手・中堅社員が共同研究で取りまとめた「三浦半島コンセプトブック」に沿って開催する初めてのイベントです。

当日は、三浦半島南部に点在する手つかずの自然を気ままに訪れ、食事や体験などを通じて、三浦半島が手軽にリフレッシュできる場所であることを、都心からお越しいただいた方を中心に多くの方に体感していただきました。

今後さまざまな施策を通して、三浦半島の活性化に努めます。



城ヶ島公園での三浦Cocoonイベント風景

TOPICS 3 地域とともに歩む

▶ 特性にあわせた高架下の有効活用による地域活性

2018年4月に、日ノ出町～黄金町駅間の高架下を活用した、ホステル・カフェラウンジ・水上アクティビティの拠点施設「Tinys Yokohama Hinodecho(タイニーズ横浜日ノ出町)」を開業しました。

また、2018年4月から、雑色駅周辺の高架下を活用し、認可保育園や飲食店を順次開業し、2019年春には、クリニックモールの開設を予定しています。

さらに、大森町～梅屋敷駅間の高架下に、地域の「町工場」と「クリエイター」の拠点を整備し、新旧のものづくりが融合した「ものづくり複合施設」を2019年春に開業します。

今後も、各地域の特性にあわせ、地域の魅力を高めることで、豊かな沿線を創出していきます。



日ノ出町～黄金町駅間高架下の「Tinys Yokohama Hinodecho」



大森町～梅屋敷駅間高架下エリア(イメージ)

TOPICS 4 賃貸事業・マンション分譲事業の戦略的展開

▶ 新規事業参入によるPRIMEブランドの拡大

中古マンションをお客様のオーダーにあわせてリノベーションする「プライムフィット中目黒」を販売しています。中古マンションを一棟取得することで、購入者の希望に応じた専有部のリノベーション工事や、一戸単位のリノベーションでは実現できない共用部のリノベーション工事が可能となります。新たな価値を付加することで、他の物件との差別化を図ります。

また、インドネシアにおいて大規模複合開発に参画し、当社の住宅ブランド「PRIME」を採用したタワーマンション「SOUTHGATE PRIME TOWER」を分譲します。これは、当社初の海外での分譲マンション事業となります。

現在、ジャカルタ郊外で行われている戸建住宅等を供給する複合開発事業にも参画しており、今後もこれまで沿線開発で培ったノウハウを活かし、海外での不動産事業の拡大を図ります。



プライムフィット中目黒



SOUTHGATE PRIME TOWERを含む
大規模複合開発計画地区「SOUTH GATE」(イメージ)

京急と 横浜のあゆみ（後編）

幕末の1859(安政6)年に開港した横浜は、長年にわたり世界への玄関口という重要な役割を担い続けました。一方、1968(昭和43)年に都心乗り入れを果たした当社は、京浜間の輸送を手始めに戦後の日本の発展に貢献してきました。深いつながりのある横浜と京急。2019年秋、当社グループは、本社を横浜に移転することで、その関係はより密なものとなります。後編では、横浜とともに歩んだ当社の歴史を振り返ります。

釜利谷(能見台)地区開発の推進

昭和50年代には、横浜市金沢区において保有していた約300haの土地の開発に着手しました。当時、横浜市南部で最後の大型開発といわれ、厳しい土地利用規制を受けた開発は、多くの問題を乗り越えて、「京急ニュータウン金沢能見台」として、1983(昭和58)年5月に分譲を開始し、合計5,000戸を販売しました。



釜利谷(能見台)地区開発の全景

日本の玄関口「羽田空港」へのアクセス整備

当社は、羽田空港の沖合展開にあわせて、羽田空港の重要なアクセスとして行われた天空橋駅までの空港線第1期延伸工事を1993(平成5)年4月に完了させ、羽田駅(現・天空橋駅)を開業しました。また、空港ターミナルへの乗り入れをめざした空港線第2期延伸工事を進め、1998(平成

10)年11月、羽田空港駅(現・羽田空港国内線ターミナル駅)が開業し、当社の悲願であった羽田空港への乗り入れを果たしました。



羽田空港駅開業セレモニー

そして2010(平成

22)年10月、国際線ターミナルの開業にあわせ、羽田空港国際線ターミナル駅を開業し、現在では両駅合計の1日平均乗降人員は約116,000人になりました。

さらに、2012(平成24)年10月に京急蒲田駅付近連続立体交差事業が完了し、京急蒲田駅を2層化したことにより、横浜方面から羽田空港駅間の列車は従来の20分間隔から10分間隔に、所要時間も3分短縮され26分になるなど、横浜から羽田空港方面へのアクセスが飛躍的に向上しました。

長年の念願であった京急百貨店の開業

上大岡駅前の再開発計画に際し、当社にとって長年の念願であった百貨店事業に進出し、1996(平成8)年10月、「京急百貨店」を開業しました。京急百貨店は、「生活者本位制百貨店」をコンセプトに、上大岡にしかない、京急にしかできない新しい百貨店づくりをめざし、30代から40代を中心とした働く女性とファミリー層をメインターゲットとした店舗作りに努めました。



開業当時の京急百貨店・ウィング上大岡・ゆめおおかオフィスタワー

同時に、約80の専門店からなる「ウィング上大岡」を開業しました。横浜の文化・情報・感性の発信拠点として、ターゲットは京急

百貨店よりもやや若い年代層におきました。

また、1997(平成9)年3月に、ゆめおおおかオフィスタワーが完成したことにより、都市計画決定から9年にわたる事業がすべて完成しました。

魅力あるまちに、マンション事業の積極展開

2005(平成17)年3月から、16階建てのツインタワーとして総戸数376戸の分譲マンション「京急シティ上永谷L-ウィング」を販売しました。横浜市営地下鉄上永谷駅とペDESTリアンデッキによって直結した、より便利な駅前生活を演出するマンションとして人気を集めました。

また、2015(平成27)年5月には、屏風浦駅から徒歩1分の「プライム横浜屏風浦」の販売を開始し、同駅には京急ストアもあり、生活に便利な立地が好評を博し、2016(平成28)年3月に竣工、売しました。

さらに、2016(平成28)年11月から「プライム新杉田」の販売を開始するなど、横浜のまちの魅力を高めるマンションを積極的に展開しました。



京急シティ上永谷L-ウィング



プライム横浜屏風浦

京急EXイン開業でビジネスホテル事業へ積極進出

グループ事業拡大の一環として、2007(平成19)年11月、第1号店「京急EXイン 大森海岸駅前」を開業し、ビ

ジネスホテル事業に参入しました。横浜エリアでは、2010(平成22)年9月に4館目となる「京急EXイン 横浜駅東口」を開業しました。横浜駅きた東口から徒歩2分という抜群の交通利便性が支持され、開業以来、多くのお客様にご利用いただき、高稼働を誇っております。



京急EXイン 横浜駅東口

今後も、当社線沿線や都心方面など羽田空港アクセスに優れた立地に「京急EXイン」の出店を行い、2020年度までに3,000室体制を構築するとともに、今後の事業拡大を図るため、羽田空港を起点とした国内主要都市への進出も検討していきます。

グループ本社機能を横浜みなとみらいへ移転

2019年秋には、みなとみらい21地区に建設中の「京急グループ本社ビル(仮称)」に当社グループの本社機能を品川から横浜に移転いたします。

ただ、この本社機能の移転は当社グループにとって未来へ向けた通過点にすぎません。今後も安全・安心を最優先に、沿線地域に広く相乗効果を波及させる事業を展開し、多くの人が集う、豊かな沿線をめざしていきます。



京急ミュージアム(仮称)も併設予定の「京急グループ本社ビル(仮称)」完成イメージ

前編は97期ビジネスレポートをご覧ください。

京急 97期ビジネスレポート

検索

株主プレミアムイベント

京急創立120周年記念

KEIKYU OPEN TOP BUSと京急油壺マリンパークを体験する
三浦半島の魅力をたっぷり感じるツアー

- ◆開催日時 ————— 2019年1月24日(木)(荒天中止)
- ◆開催時間 ————— 13時20分～17時00分(予定)
- ◆募集人員 ————— 15組30名様
- ◆応募締切 ————— 2018年12月21日(金)消印有効
- ◆当選者へのご案内 — 2018年12月27日(木)発送予定
- ◆見学内容

京急創立120周年を記念して、今回の株主プレミアムイベントは、運行開始以来ご好評をいただいている「KEIKYU OPEN TOP BUS」の乗車と、開館50周年を迎えた「京急油壺マリンパーク」の見学ツアーを予定しております。



※写真はイメージです。

- ※ 昼食のご用意はございません。
- ※ バス乗車中など、寒いことが予想されます。暖かい服装でお越しください。
- ※ バスはバリアフリー対応になっておりませんので、車いすに乗ったままご乗車することはできません。車いすは荷物置場にお預けいただき、座席までの移動はご自身と介助(同伴者)の方をお願いいたします。

イベント参加申し込み方法

応募資格 2018年9月30日現在 株主の方

応募方法 はがき・ウェブ

はがきで応募される方

本誌裏表紙の応募券を貼り、
以下の事項をすべてご記入のうえご応募ください。

1. 株主様の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、株主番号
2. 同伴者の氏名、年齢、株主様とのご関係
3. (同伴者が同居以外の場合のみ)
同伴者の郵便番号、住所、電話番号

【はがき】

上記1～3を
必ずご記入
ください

【応募券】

株主
プレミアム
イベント
応募券
第98期
中間

本誌裏表紙に
あります

【送付先】

〒108-8625
京急電鉄
株主プレミアム
イベント事務局

ウェブで応募される方

1. 「京急電鉄IR」でウェブ検索します。 京急電鉄IR 検索
2. 京急電鉄ウェブサイトの「IR情報」にアクセスします。
3. 応募ページに進んでいただき、ログインパスワード
「9006」を入力してご応募ください。

ご注意

- ・お申し込みは、お一人様につき一回限りです。
- ・同伴者は株主の方でなくても結構です。
- ・現地集合・現地解散となります。
- ・参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただきます。
- ・諸般の事情から内容を変更または中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。なお、当選者の発表は当選はがきの発送をもって代えさせていただきます。
- ・ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。

会社情報

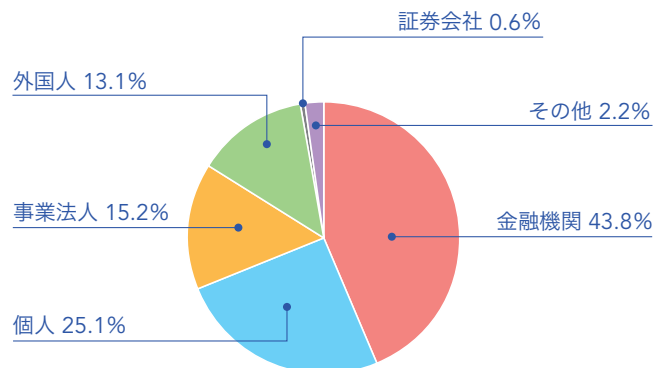
● 商号	京浜急行電鉄株式会社 (証券コード 9006) Keikyu Corporation
● 本社所在地	〒108-8625 東京都港区高輪2丁目20番20号
● 設立	1898年2月25日 (前身の大師電気鉄道の設立) 1948年6月1日 (京浜急行電鉄の設立)
● グループ会社	58社 (当社を含む)
● 従業員数	9,140名 (うち当社2,830名)

役員

取締役会長 (代表取締役)	石渡 恒 夫
取締役社長 (代表取締役)	原 田 一 之
取締役副社長	小 倉 俊 幸
専務取締役	道 平 隆
常務取締役	廣 川 雄一郎
常務取締役	本 多 利 明
取締役	佐々木 謙 二
取締役	友 永 道 子
取締役	寺 島 剛 紀
取締役	平 位 武
取締役	上 野 賢 了
取締役	浦 辺 和 夫
取締役	渡 辺 静 義
取締役	川 俣 幸 宏
取締役	佐 藤 憲 治
常勤監査役	國 生 伸
常勤監査役	森 脇 朗
監査役	末 綱 隆
監査役	須 藤 修

株式の情報

- 資本金 43,738,735,119円
- 株式数 275,760,547株 ※自己株式を含む
- 株主数 27,553名
- 株式分布



お知らせ

100株以上200株未満ご所有の株主様への株主優待乗車証発送について

100株以上200株未満ご所有の株主様に対する「電車・バス全線きっぷ×2枚」は、毎年3月31日の基準日に株主名簿に記録された株主様に限り、年1回発行となります。次の基準日(2019年3月31日)に株主名簿に記録された株主様に、2019年5月中旬に発送させていただきます。

なお、京急グループ施設株主優待割引券は、2018年9月30日の基準日に株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に今回お送りしております。

株主優待のご案内

当社グループ施設優待割引券のほか、株式数に応じて優待乗車証等が選択できる株主優待制度を設けています。

京急グループ施設
株主優待割引券(年2回)

● 100株以上ご所有のすべての株主様にご所有株式数に応じた割引券を贈呈

【主なグループ施設の株主優待割引内容】

施設名	ご所有株式数		割引内容
	100～500株未満	500株以上	
京急EXホテル・京急EXイン	2枚	4枚	客室料金から1,000円割引
観音崎京急ホテル	2枚	5枚	SPASSO 日帰り入浴料割引・・・ 大人平日900円(通常料金1,500円)／小人平日600円(通常料金1,100円) など
伊豆長岡温泉 京急ホテル	2枚	4枚	客室正規料金 …… 大人 2,000円割引／子供(小学生) 1,400円割引／幼児(3～6歳)1,000円割引 など
京急ストア・もともちユニオン	20枚	40枚	50円割引 …… 1回1,000円以上(税込)のお買い上げごとに1枚利用可能
京急百貨店	5枚	10枚	5%割引 …… 1回1,000円以上(税抜)のお買い上げで利用可能



京急EXホテル



もともちユニオン

● 100株以上2,500株未満ご所有の株主様

■ 電車・バス全線きっぷを発行

ご所有株式数	電車・バス全線きっぷ	
	9月末(基準日)	3月末(基準日)
100～ 200株未満	—	2枚(注)
200～ 500株未満	2枚	2枚
500～1,500株未満	4枚	4枚
1,500～2,500株未満	8枚	8枚

● 2,500株以上15,000株未満ご所有の株主様

■ 電車・バス全線きっぷもしくは京急EXホテル・京急EXイン無料宿泊券(シングル)のいずれか1つ選択

ご所有株式数	電車・バス全線きっぷ		京急EXホテル・京急EXイン無料宿泊券(シングル)	
	9月末(基準日)	3月末(基準日)	9月末(基準日)	3月末(基準日)
2,500～ 5,000株未満	15枚	15枚	1枚	1枚
5,000～10,000株未満	30枚	30枚	2枚	2枚
10,000～15,000株未満	60枚	60枚	4枚	4枚

(注)毎年3月31日の基準日時点の株主様に限り年1回発行。次の基準日(2019年3月31日)に株主名簿に記録された株主様に、2019年5月中旬に発送させていただきます。

● 15,000株以上ご所有の株主様

■ いずれか1つ選択 + 電車・バス全線きっぷ15枚(年2回) さらに3年以上継続の場合 + 電車・バス全線きっぷ15枚(年2回)

ご所有株式数	電車全線バス		バス全線バス		電車・バス全線きっぷ		京急EXホテル・京急EXイン無料宿泊券(シングル)	
	9月末(基準日)	3月末(基準日)	9月末(基準日)	3月末(基準日)	9月末(基準日)	3月末(基準日)	9月末(基準日)	3月末(基準日)
15,000～22,500株未満	1枚	1枚	—	—	90枚	90枚	6枚	6枚
22,500～30,000株未満	1枚	1枚	1枚	1枚	135枚	135枚	6枚	6枚
30,000株以上	電車・バス共通全線バス 1枚(年2回)				180枚	180枚	6枚	6枚

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および当社グループ(京浜急行バス、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。

(空港リムジンバスは、横浜駅(YCAT)・横浜駅西口～羽田空港線のみご利用になれます。)

※株主優待の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

■ 単元未満株式の買取・買増制度、特別口座に関するお問い合わせは

株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

〈営業時間〉平日 9:00～17:00

☎ 0120-782-031

■ 当社株主優待等に関するお問い合わせは

京急ご案内センター

〈営業時間〉

平日 9:00～19:00

土・日・祝日 9:00～17:00

※営業時間の変更となる場合がございます。

ハロー・ハロー

03-5789-8686

または 045-441-0999



京急ご案内センター



第98期
中間

※この冊子に掲載のイラスト・写真の無断転載を禁じます。

